

10.九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計 動向 関連	良く なっている	乗用車販売店 （管理担当）	来客数の動き	・当社では新車の発表があり、CMも良かったのが来客がいつもの3倍あった。客はいい品物で値ごろ感のあるものには興味を示しており、売上も良かった。	
	やや良く なっている	一般小売店〔生 花〕（経営者） 通信会社（業務 担当）	販売量の動き それ以外	・インターネット販売が、1月に入って多くなった。 ・カメラ付き携帯電話を中心に好調な売行きを継続しているが、売れ筋は人気商品及び低価格商品に集中している。	
	変わらない		商店街（組合職 員）	お客様の様子	・冬物のバーゲンセール中だが来街者が減少している。良い品が値下がりしていても既存の持ち物で間に合わせようと買い控えをしている。
			一般小売店〔青 果〕（店長）	単価の動き	・冬物商材は若干価格が上がっているが、全体ではデフレ傾向で量売っても客単価が上がらない。
			百貨店（営業担 当）	販売量の動き	・プロパー商品の動きが非常に悪い。バーゲン、単価は前年並み、ギフト等大型催事が伸び悩んでいる。
			百貨店（営業担 当）	販売量の動き	・正月、クリアランスで、前半はビックリするほど好調だったが、15日以降は大幅に失速した。
			百貨店（営業担 当）	単価の動き	・12月に店舗の一部に休めるスペースやカフェを作った効果で、来客は増えたが、単品でしか買わないので客単価は下がっている。
			百貨店（営業担 当）	販売量の動き	・初売りが順調で、クリアランス商戦も順調に売上を伸ばしている。
			百貨店（売場担 当）	販売量の動き	・一品単価、購買客単価、購買率は初めて3つ揃って前年を若干上回ったが、来客数は1割以上減っており、売上高も微減である。
			スーパー（店 長）	お客様の様子	・必要なものだけを買ったり、店によって買い分けをしている。たとえば、ドラッグストアで一般食料品を買い、スーパーでは生鮮食料品を買う。
			スーパー（店 長）	単価の動き	・初売りとはいえ、単価アップ型商品の動きがなく、一品単価、客単価が大幅にダウンしている。この傾向は1年以上前からで、特に家電や重衣料が悪い。
			コンビニ（経 営者）	それ以外	・来客数が増えると客単価が落ち、来客数が減ると客単価が上がる傾向にあったが、最近では来客数、客単価ともに減少している。
			衣料品専門店 （店員）	お客様の様子	・バーゲンシーズンなので単価が3か月前に比べて低い。数は出ているが、安くても1人1点という状況は変わらない。景気に左右されにくい裕福な高齢者やお嬢様が買い物に来ている。
			家電量販店（店 長）	単価の動き	・大物高額商品の動きが大変悪く、全体的に厳しさを感じる。
			その他専門店 〔医薬品〕（従 業員）	お客様の様子	・風邪が流行し、風邪関連商品は売上を伸ばしたが、それ以外は依然下降傾向にある。
			その他専門店 〔ガソリンスタ ンド〕（統括）	競争相手の様子	・今までは値上げの時期に何社が独断で安くして売上を稼ごうとする動きがあったが、今は、談合はないが何社かが値上げすると、他もタイミングよくついてくる。今は1人勝ちができるような状況ではなく、業界が利益をとる方に走っている。
			高級レストラン （スタッフ）	来客数の動き	・景気はずっと悪くなっていったが少し落ち着いてきた。来客数の減り方もおさまってきた。
			一般レストラン （スタッフ）	販売量の動き	・昼は300円くらいの弁当で済ませたり、夜は惣菜のセットを買う客が増えている。
			都市型ホテル （副支配人）	お客様の様子	・予約の際の客の値段交渉が大変多くなっている。
			タクシー運転手	来客数の動き	・昼間は、それなりに人が動いているが、夜の歓楽街が下降気味で、トータルでは横ばいである。
タクシー運転手	お客様の様子	・寒さが厳しいので、昼頃にならないと人が動かず、一時的にしか車が動かない。			
パチンコ店（店 員）	単価の動き	・年末年始は若干伸びたが、10日以降の客の減少が予想以上にひどかった。			
住宅販売会社 （従業員）	販売量の動き	・展示場の来客数が減って、見込み客が非常に少なくなっている。			
やや悪く なっている	商店街（代表 者）	お客様の様子	・年末年始から客の動きが一時少し良くなったが、中旬以降は極端に来客数が少なくなっている。		

	商店街（代表者）	お客様の様子	・商品を見るだけ見て、買おうという気がほとんどない。
	商店街（代表者）	販売量の動き	・初売りの前倒しで消費者の購買意欲を誘発したが、寒波等により長続きしなかった。
	一般小売店〔鮮魚〕（店員）	単価の動き	・高い物が売れなくなり、単価が上がらない。そのため来客数が多少増えても売上は少ない。なじみの客は変わらず来るが、その他の客は来ない。
	百貨店（販売促進担当）	単価の動き	・クリアランスがかなり良かった。バーゲンになると客は買うが、単価が高い状況ではほとんど売れない。
	百貨店（業務担当）	お客様の様子	・衣料品は単品購入が目立ち、食品についても単価ダウンが目立っている。催事も初日だけの賑わいであり、消費マインドは冷えこんでいる。
	スーパー（経営者）	お客様の様子	・無駄なものの買い物が少なくなっている。また、嗜好性の高い商品の売行きが悪くなっている。
	スーパー（店長）	販売量の動き	・気温は低いのに冬物衣料の動きが悪い。
	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・給料日の後というのに、お金がないと言う客が多い。
	衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・年末のボーナスが思ったほどもらえなかったこと、今から受験シーズンや新学期を迎えていくらかかるかわからないので、財布の紐を締めている。
	家電量販店（企画担当）	単価の動き	・来客数は前年を上回っているが、安いものしか売れず、客単価がかなり下がっていて最終的には前年を下回っている。
	乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・辛抱すればまだ使える物は買い控えをする。ローンを勤めても先行きが不透明ということで断られる。
	乗用車販売店（販売担当）	お客様の様子	・車を買いたいけど、我慢して乗る客が多い。
	住関連専門店（経営者）	お客様の様子	・初売りでは大物があまり動かなかった。
	一般レストラン（経営者）	競争相手の様子	・他地方の同業者仲間からも去年の10月頃から徐々に落ち込んでいると聞く。今月は最悪だった。
	スナック（店長）	単価の動き	・客はそこそこ入っても、5人来て2人前、8人来て3人前の料理しか注文しない。2次会に行かず自分の店に何時間もいる。後が入ればうまく言って帰ってもらうが、満席になっても売上は通常の4割減である。
	旅行代理店（従業員）	単価の動き	・卒業旅行の動きはそこそこであるが、単価が安く利益に結びつかない。
	タクシー運転手	競争相手の様子	・待ち時間が非常に長くなり、実車が少なくなっているため売上も落ちている。遅くなると客が値引き交渉をしてくるので、車が動いても実質的に売上が下がっており、給料も若干下がっている。
	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・経営がかなり厳しくなっており、資金繰りに追われて営業活動ができていないところがある。
	観光名所（職員）	来客数の動き	・観光施設は来客数が前年比15%の減少、ゴルフ場も13%の減少である。売上もそれに伴って落ちている。ゴルフ場は平日は数十人で、土日でも150人前後がいいところで、3か月前に比べてだいぶ落ちている。
	美容室（店長）	来客数の動き	・成人式の着付けが例年の半分以下だった。他店にも聞いてみたが、今年は少なかったようだ。
	設計事務所（所長）	それ以外	・仕事を始めて以来、仕事が切れることがなかったが、今は管理だけで設計の仕事が切れている。
悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・相変わらず来客数は少なく、商店街の中心施設も閉店がせまっているため、来客減の傾向が強まっている。
	スーパー（店長）	来客数の動き	・普段の1月に比べてかなり冷え込んだため、来客数がだいぶ減った。
	スーパー（店員）	来客数の動き	・タイムサービスの時間帯は客が集中するが、目玉商品と必要な品、必要な量しか買っていない。
	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・年が明けて、建設作業員の客が今年の半分以下に減り、今まで売れていたパン、弁当の売上が激減した。
	コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・既存店の売上が前年を超えることは、今の状況ではありえない。店によっては、このままでは閉鎖せざるを得ない状況まで陥っている。
	コンビニ（店長）	単価の動き	・駅構内に店があるが観光客が少なく、正月は不調だった。客は単価が少しでも安い方に流れている。
	コンビニ（店長）	競争相手の様子	・客の表情が良くならない。日常の会話でいい話が聞かれない。去年から比べると極端に悪い。

		家電量販店（店長）	単価の動き	・高額商品の買い控えが目立っていて、客単価そのものが下がっている。
		高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・前年比で年々悪くなっている中でも良かったり悪かったりとバラツキがあったが、この1年間に関しては、全ての月で前年の売上を割っている。
		高級レストラン（専務）	来客数の動き	・いろいろな会合が少なくなって、出席者も減ってきて、皆が財布の紐を締め出した。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・久しぶりの積雪とインフルエンザの流行で来客数ゼロの日が3日あった。1月から実施した値下げ作戦のせい以前年の3割減で抑えることができた。やはり客は価格に敏感になっている。
		旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・春の旅行シーズンに入ったが、来客数がかなり少なくなっている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・今月は最悪だった。また、夜の勤めの女性で店を辞める人が1月に入って多くなった。
		競輪場（職員）	販売量の動き	・1月は全国発売のレースがあったが、以前は来ていた九州外の客が減った。また、遠くから来た客は地元の花街で飲んだりするが、それもなくなった。販売量は九州だけでなく全国的に落ちている。
企業 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	農林水産業（従業者）	受注量や販売量の動き	・品種の90%が新しい物に変更されており、生産量の増減が激しく、価格が高騰している。
		精密機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新規引き合い、受注がこの2、3か月増加している。
		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注金額は大きくないが、受注件数の伸びが顕著になった。
	変わらない	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・公共事業等の減少により競争激化となり、販売価格に影響している。結果的には売上高が伸びない。
		電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・ここにきて、大手半導体メーカーの企業格差が出てきて、非常に不安定な状況の中で忙しくなっている。同業者でも企業格差が出ており、忙しいところと暇なところが極端に分かれている。
		電気機械器具製造業（経営者）	それ以外	・景気は悪くなっているが、社内改革で現状維持を図っている。
		輸送用機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・ニューモデル車の売行きが良い。
		建設業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・公共事業の予算減少、景気の先行き不透明感から設備投資は鈍化し、厳しい状況がしばらく続く。
		通信業（職員）	受注量や販売量の動き	・受注量そのものは多少なりとも増えているが、受注価格は非常に厳しい。
		経営コンサルタント	それ以外	・新しい仕事はあまり多くない。受注の内容も、合理化やリストアップに関するものが多い。
	やや悪くなっている	その他サービス業〔物品リース〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・契約が全く伸びない状況が続いていて、悪いままに回復の見込みが立っていない。
		農林水産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・原料、供給不足で総じてスーパー向けの商品は悪い。居酒屋向けは好調である。
		繊維工業（営業）	取引先の様子	・90%以上を海外生産にできてしまっていて、作り過ぎで在庫が増えている。在庫を安く店頭に出しているため売れなくなっている。それでまた在庫が増えている。メーカーの倒産も多く、倒産品が多く出回っている。
金属製品製造業（企画担当）		受注価格や販売価格の動き	・受注価格に下げ止まりが見られない。民間の物件に限らず、官庁物件も同様である。	
一般機械器具製造業（経営者）		受注量や販売量の動き	・取引先のうち、受注があるのは自動車関連だけで、あとは全く動きがない。	
通信業（経理担当）		それ以外	・自治体の合併問題などで新規受注が大幅に落ち込むことが予想される。県下の情報サービス産業の状況は芳しくなく、売上比較では横ばいか下回っている。	
悪くなっている	経営コンサルタント	取引先の様子	・金融機関の締め付けが厳しくなるといった情報が聞こえてきて、客の資金に関する相談が増えている。	
	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・受注がかなり減り、従業員は早く帰れるようになってきた。例年1月は出荷が少ない時期だが、ここ数年の中では最悪の水準である。市場で商品が出回っていないため、問屋が仕入れをしなくなっている。	

		経営コンサルタント	受注価格や販売価格の動き	・酒類の中でも焼酎はよく売れているが、その中でも単価の安い物が集中して売れている。消費者の買い控えで安い方向で節約している。したがって、メーカーも安い物を出しているが、利益が出ない。
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	求人情報誌製作会社（総務担当） 職業安定所（職員）	雇用形態の様子 求職者数の動き	・事業戦略を実現させるための正社員の採用と、パート・アルバイトを含めた単純労働にはっきりと別れている。 ・新規求職者が減少傾向にあり、非自発的離職者も減少している。
	変わらない	人材派遣会社（社員） 新聞社〔求人広告〕（担当者） 職業安定所（職員）	周辺企業の様子 雇用形態の様子 雇用形態の様子	・明るい兆しは見られるが、数字に表れるほどの好況感はない。 ・正社員の募集が少なく、アルバイト、臨時雇、派遣社員がさらに増えている。 ・新規求人は前年同月比で8か月連続プラスになっているが、その条件をみると業務請負や、パート・臨時雇のいわゆる不安定雇用である。
	やや悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者） 職業安定所（職員）	求人数の動き 求職者数の動き	・求人広告主の顔ぶれが固定化している。 ・新規求職申込件数が、前年比2か月連続して増加している。事業主都合離職者が前年比95%増加している。
		民間職業紹介機関（支店長）	求人数の動き	・年が明けて年度末需要期に入ったが、昨年、一昨年に比べてその伸びが大きく落ち込んでいる。
	悪くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	求職者数の動き	・求人広告に対する応募者の行動パターンが、高収入を得るために多少のリスクは仕方がないというものが減っている。賃金は少なくとも確実に長時間働く仕事を選んでいる。また、短時間労働より、長時間働いて少しでも収入を得ようとしている。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	雇用形態の様子	・若年層の求人は多いが、中高年の求人は極端に少なく、年齢制限で面接も受けられない状況である。